

外来診療担当医一覧表

受付時間 8:30~11:00

救急の場合は24時間いつでも受付しております ☎(0577)32-1115

平成26年10月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科	診察室32	村田 欣洋 (循)	横山有見子 (循)	田近 徹 (循)	村田 欣洋 (循)	横山有見子 (循)	
	診察室34	—	河田 好弘 (呼)	横山 敏之 (呼)	横山 敏之 (呼)	河田 好弘 (呼)	
	診察室42	横畑 幸司 (消)	杉山 和久 (消)	杉山 和久 (消)	横畑 幸司 (消)	—	
	診察室43	長瀬 裕平 (消)	—	小川 和昭 (消)	長瀬 裕平 (消)	小川 和昭 (消)	
	診察室44	野村 由佳 (呼)	丹羽 慶樹 (消)	野村 由佳 (呼)	—	丹羽 慶樹 (消)	
	診察室45	—	山田 勝己 (腎)	—	—	山田 勝己 (腎)	
			(循)…循環器内科 (呼)…呼吸器内科 (消)…消化器内科 (一般)…一般内科 (腎)…腎臓内科				
	神経内科(診察室47)	川畑 和也 (午後)	川畑 和也 (午前)	陸 雄一 (午後)	陸 雄一 (午前)	—	
	内分泌内科(診察室33)	—	—	(第4 代務医師)	(第2 代務医師)	—	
	HOT外来 (在宅療養療法)	第1・第3火曜日 13:30~15:00					
禁煙外来	火曜日 14:00~15:30						
血液内科	第1・第3金曜日 11:30~15:00						
糖尿病外来	火曜日 12:30~16:00						
心療内科	2階 診察室1	安藤 寿博 15:00~17:00	安藤 寿博	安藤 寿博	安藤 寿博	安藤 寿博 15:00~17:00	
小児科	診察室14	—	—	代務医師 10:00~11:30	—	—	
	午後診	—	代務医師 予防接種 15:00~16:00 予約診 16:00~17:00	代務医師 第2週・4週のみ診察 予防接種 15:00~16:00 予約診 16:00~17:00	代務医師 予防接種 15:00~16:00 予約診 16:00~17:00	代務医師 予防接種 15:00~16:00 予約診 16:00~17:00	
外科	診察室51	森岡 淳	松葉 秀基	堀 明洋	森岡 淳	堀 明洋	
	診察室52	諸藤 教彰	—	渡邊 学	—	河合 清貴	
	血管外科(診察室53)	—	玉井 宏明	—	玉井 宏明	—	
	乳腺外来(診察室52)	金曜日 13:30~15:00					
	形成外科(診察室51)	鳥居 修平 (原則、月1回金曜日 13:30~15:00 ※診察日の確認が必要です)					
整形外科	診察室71(再診)	田口 勝啓	上田 秀樹	五藤 弘	田口 勝啓	五藤 弘	
	診察室72(初診 予約診)	五藤 弘	田口 勝啓	上田 秀樹	上田 秀樹	田口 勝啓	
脳神経外科	診察室62	山本 昌幸	山本 昌幸	国本 圭市	山本 昌幸	国本 圭市	
皮膚科	診察室64	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里	
	午後診	15:30~16:30 学童対象	—	—	15:30~16:30 学童対象	—	
泌尿器科	診察室82	山本 貴大	山本 貴大	山本 貴大	山本 貴大	山本 貴大	
産婦人科	診察室77	代務医師 11:00~14:30	—	—	—	—	
眼科	診察室23	日比 展昭	日比 展昭	日比 展昭	日比 展昭	日比 展昭 代務医師	
耳鼻咽喉科	診察室26	—	—	—	代務医師	—	

月に一度、正面受付に保険証のご提示をお願いします。

編集後記 先日のでん火の被害は、まだ記憶に新しいことかと思ひます。この件のように天災はいつ、どのように起こるか予想がつかないものです。災害がおきたとき自分はどう行動すべきか、何を備えておけばよいのか今一度考えてみましょう。
(久美愛厚生病院 広報委員)


病院からのお知らせは、ホームページ <http://dome.ruru.ne.jp/kumiai/> でもご覧頂けます。

JA 岐阜厚生連 **久美愛厚生病院** 〒506-8502 高山市中切町1番地1

あなたの健康生活をやさしく応援する情報紙

お元気ですか

第 91 号
2014.10発行
JA岐阜厚生連
久美愛厚生病院

- 気管支喘息とは?
- 『中学生体験実習』『高校生インターンシップ』
-  「地域災害拠点病院」に指定される
- 飛騨高山研修旅行(名古屋大学院医学系研究科留学生)
- 病院からのお知らせ



【天生湿原】

気管支喘息とは？

気管支喘息は、空気の通路である気管支が炎症を起こすことで過敏になってしまい、通路の壁が腫れたり、痰が出たりして道が狭くなることで、呼吸が苦しくなってしまう病気です。原因は様々ありますが、日本で多くみられるのはアレルギー源を吸い込む事で過敏な反応を起こすタイプです。



呼吸器内科
河田 好弘



「症状」は何があるの？

多くの患者さんは普段は何の症状もなく暮らしていますが、何かのきっかけに発作が起こると苦しくなり、喘鳴という「ヒューヒュー」、「ゼーゼー」という音がのどや胸で聞こえるのが特徴です。また、慢性的な咳や痰だけの症状の場合もあります。

発作は多くの場合、夜中から明け方にかけて出現します。他に、運動や過度なストレスで起こってしまう事もあります。また、アスピリンなどの痛み止めや風邪薬などがきっかけとなり、発作が起こる人もいます。

(これをアスピリン喘息と言います。喘息患者さんの10人に1人くらいの割合です。)



「治療法」はどういったものが？

治療の目的は発作時の症状を治す事だけではありません。

「発作を起こさないように、健康な方と同じ毎日を送ること」が一番の目的です。

喘息治療には、ステロイドや気管支拡張剤を含んだ吸入薬がよく使われます。喘息発作が起こらないように毎日規則的に使用する予防薬と、喘息発作が起こったときだけに使用する発作治療薬もあります。他に、飲み薬や貼り薬などもあります。

病気を理解したうえで、きちんと薬を使い分ければ発作のない安心な毎日を過ごせます。



『中学生体験実習』

『高校生インターンシップ』



3階北病棟 主任看護師
日野 早香枝



おかげさまで、今年度も「中学生体験実習」と「高校生インターンシップ研修」を無事実施することが出来ました。参加希望者が多く、学校側に人数調整をお願いするほどでした。

「中学生体験実習」は7月28日から8月1日の5日間に72名、「高校生インターンシップ

研修」は8月4日・5日の2日間で83名の参加がありました。

「高校生インターンシップ研修」では新たな取り組みとして、医師、薬剤師志望も募り、医師志望13名、薬剤師志望10名がありました。

内容としては、院内見学、心肺蘇生・AED講習、その後、看護師、医師、薬剤師研修に分かれ見学・体験していただきました。皆さん笑顔で、楽しく研修を受けていました。体験後の感想文からは、今後の進路決定に役立ったという意見が多くあり、たくさんの学びが得られたようでした。

参加人数の多さにも驚きましたが、今後はそれぞれの進路に進んでいただき、ふるさと飛騨の地域医療の後継者として帰ってきてくださることを願ってやみません。来年度もぜひご参加ください。



看護師研修



心肺蘇生講習



院内見学



薬剤師研修



「地域災害拠点病院」に指定される

DMAT {ディーマット:Disaster Medical Assistance Team}

という言葉聞いたことがあるでしょうか？
聞いたことがある方はどのようなイメージを持っているでしょうか？

■DMATとは

「災害急性期に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム」と定義されています。地震、洪水などの自然災害や、大規模交通事故発生時に出勤し、発生から72時間以内の超急性期と言われる期間の医療支援活動を行います。



■どんな活動をするのか？

DMATの活動は多岐にわたります。

- 病院支援**：被災地内の病院に赴き、その指揮下で診療支援を行う。
- 現場活動**：災害現場近くに現場救護所を設営する。傷病者の分類(トリアージ)・処置、医療機関への搬送など、救護所の運営を行う。また、避難所での支援活動など、超急性期以降の活動も行うことがある。
- 広域医療搬送**：患者の容態によっては全国レベルでの分散搬送が必要になるため、ヘリコプター等による搬送支援、機内活動を行う。

■誰が活動するのか？

DMATは、医師、看護師、業務調整員で構成され、4~5人で1チームを編成しています。全員が厚生労働省の認める資格を持っています。

《DMAT養成研修風景》



当院は、岐阜県から地域災害拠点病院(=災害発生時に災害医療を行う病院などを支援する機能を有する病院)の指定を受けるべく準備を進めてきました。指定要件の1つにDMATを保有していることとあり、平成26年6月に当院職員5名が日本DMAT隊員養成研修に参加し、チームの認定を受けることができました。9月に岐阜DMATの派遣に関する協定を岐阜県と締結しました。これにより災害による重篤患者救命のための高度診療機能や、多数傷病者の受け入れ、および搬出を行う広域搬送への対応が求められていきます。

今後は岐阜県内に限らず、大規模災害発生時には警察、消防等の関係機関や他のDMATと連携して災害医療活動を行うこととなります。高山市の防災訓練などを通して、飛騨地域の災害医療対策に寄与するとともに、災害に対する備えや意識が少しずつ高まるよう当院全体で取り組むことを目指しています。

災害は今日にでも起こり得るものです。そのとき私たちはどうしたらよいのか、どのように行動するべきか考えてみませんか？





名古屋大学院医学系研究科医療行政学 YLP(ヤング・リーダーズ・プログラム)第11期生

飛騨高山研修旅行

7月7日から9日にかけて、名古屋大学大学院医学系研究科の留学生(すでに医師免許を持ち、医療に携りながら、自国の更なる発展のため尽力する方々)の研修旅行が高山市で行われました。

初日は、久美愛厚生病院を訪問されました。堀院長の挨拶の後、当院健診センター保健師より「巡回健診について」、飛



騨保健所長より「飛騨地域の健康管理について」の説明を受けられました。また、各外来や人間ドック、検診車を見学され、予防医療への取組み、特に各地へ赴く巡回健診には大きな関心を示してみえました。

2日目は高山市海外戦略室のご協力、高山市の歴史や特徴、人々の暮らし・産業・観光に関する説明、その後はレンタル浴衣で市内観光。午後からは高山市長を表敬訪問された後、久々野診療所と朝日診療所を視察されました。

3日目は白川村です。白川村長を表敬訪問され、白川村についてご説明いただきました。その後、白川村体育館での住民健診を視察され、最後に白川郷の展望台からの見事な眺めを楽しみました。

全体を通して学生たちはとても勉強熱心で、毎回予定時間が過ぎてしまうほど質問が相次ぎました。自国の医療設備や制度と比べての意見を述べる方が多く、「自国の医療をより良くしたい」という情熱を感じました。また、高山の町並みや飛騨の文化を大変気に入られ、「是非また訪れたい!」という声を多数いただきました。



病院からのお知らせ

なんでも相談会について

医療や福祉、介護についてお困りのことはございませんか?みなさまのいろいろなご相談やご意見をお伺いし、疑問や不安を解消・軽減できるようお手伝いします。

下記のとおり、テーマごとになんでも相談会を開催いたしますので、興味のある方は是非ご参加ください。

日時 平成26年 **11月20日(木)** 【医師によるなんでも健康相談】

平成27年 **2月19日(木)** 【心の悩み相談】

14時30分～16時30分

場所 医療介護センター前 ロビーにて

●相談内容によっては別室にてお伺いいたします。

お問い合わせ 医療介護センター TEL:32-3032(直通)



日本乳がんピンクリボン運動

日時 平成26年 **10月19日(日)** **9時～15時** **予約制**

場所 久美愛厚生病院 2階 検診センター

●検査内容・料金:視触診+マンモグラフィー(1方向) ¥5,000-(税込)
(40歳代の方は、2方向) ¥6,000-(税込)

お問い合わせ 地域保健課 **9時～17時** TEL:32-3378(内線 2234)

糖尿病教室のご案内

9時～14時30分

10月10日(金)・24日(金) 11月14日(金)・28日(金) 12月12日(金)

●予約制です。参加を希望される方は、事前に内科外来、または栄養科へお申し込みください。